

代表質疑

9月8日の本会議で、各交渉会派(所属議員3人以上の会派)の代表者6人が令和3年度決算について質疑を行いました。要旨は次のとおりです。

費用対効果を考慮しコロナ禍の市政運営に努めよ



民主緑風会
谷口 敏也 幹事長

議員 コロナ対応の事業の中には利用実績の少ない事業もあった。費用対効果を考慮し、計画すべきだったのではないかと考える。

市長 需給のバランスが取れない、条件が合わず利用できないことなどもあったが、事業はコロナ禍で不安な市民の安全安心につながる成果があったと考える。

議員 費用対効果はこのように生かすかが重要だ。市で実績のなかった事例を各自治体とのつながりの中で情報共有することなども必要と考えるが所見を伺う。

市長 これからも様々なことに更に臨機応変に対応できる体制や仕組みづくりを考えていかなければならないと考える。

議員 令和3年10月に自宅

市民の命と暮らしを最優先の市政を求める



日本共産党
紫野あすか 議員

議員 コロナ禍だからこそ保健所の必要性、機能強化について議論すべきだったと考える。今後どのように保健所の問題を解決してい

は、地権者を追い出すことなく身の丈に合った事業であるべきだ。所見を伺う。

市長 地権者を追い出すこととはない。再開発の中で戻り入居してもらうことも含め計画を作っていくことが責務だと思っている。

議員 本年4月に保育園の待機児童がゼロになったというが、待機児童の考え方を考えただけで、従来の考え方では待機児童は24人も存在する。希望した園に入れないまま待機児童の解消について検討すべきだ。

市長 待機児童の問題が全て終わったとは思っていない。

議員 人権基本条例(仮称)の制定に当たり、人権そのものへの理解を深めることが必須であり、差別や人権侵害が発生した場合の対応を示すことも重要だ。

企画部長 誰もが不当な差別を受けることなく暮らせる社会を実現するという視点を最も重視しているが、対策の全てを条例に盛り込むことは困難だと考える。

議員 国立天文台北側敷地の開発に当たり、羽沢小学校の移転にどの程度の予算規模を想定したのか。

市長 この敷地を買うか等これから決める中で財政規模を考えていく。市財政を圧迫することのないよう幅広く対応していきたい。

議員 旧どんぐり山施設の利活用に向けて、事業計画と改修の計画の順序が逆転



いのちが大事
野村 羊子 幹事長

多様な市民生活を支えるために必要な施策は何か



議員 健康福祉部調整担当部長の制定に当たり、人権そのものへの理解を深めることが必須であり、差別や人権侵害が発生した場合の対応を示すことも重要だ。

企画部長 誰もが不当な差別を受けることなく暮らせる社会を実現するという視点を最も重視しているが、対策の全てを条例に盛り込むことは困難だと考える。

議員 国立天文台北側敷地の開発に当たり、羽沢小学校の移転にどの程度の予算規模を想定したのか。

市長 この敷地を買うか等これから決める中で財政規模を考えていく。市財政を圧迫することのないよう幅広く対応していきたい。

議員 旧どんぐり山施設の利活用に向けて、事業計画と改修の計画の順序が逆転

い。目標を達成した後には更にきめ細かい対応が必要になると考えている。

議員 当該年度はどの基金も積み立てをしており、取り崩しを行ったのは平和基金と環境基金のみだ。基金を取り崩しても、いち早く継続的に取り組むべきことがあったのではないかと考える。

企画部長 最終的には基金の取り崩しは抑制したが、市の一般財源で積極的な財政出動を行い、多様なコロナの対策に取り組んだ。

議員 当該経費の収入と支出の特筆すべき点を伺う。

第二副市長 歳入面では国の交付金等を市の独自事業の財源として有効に活用し、歳出面では感染症対策や市民、事業者への支援を継続するとともに、新たな課題として顕在化した自宅療養者を支えるための支援など、きめ細かな対応を図った。

議員 令和3年度予算審査特別委員会が公共用地を原資とした財源確保に当たっては売却ありきではなく買

健康福祉部調整担当部長 既存施設を有効活用するため、より円滑かつ迅速な事業の開始を目指したスケジュールで進めてきた。

議員 学校の校舎の中に居場所を設置する事業は、子どもたちを特定した環境に閉じ込めてしまうものにならないか。子どもの居場所づくりは地域での展開を重視すべきではないのか。

教育長 子どもたちにとっての開設に当たり、羽沢小学校の移転にどの程度の予算規模を想定したのか。

て多様な場の選択肢があることが望ましい。居場所づくりは、サードプレイスも含めた新しい放課後という位置付けで展開したい。

議員 令和3年度はコロナウイルスに関係する対応に終始する年度であった。コロナ関連の総費用を伺う。

第二副市長 新型コロナウイルス感染症対策経費の総額は67億9千400万円だ。

議員 当該経費の収入と支出の特筆すべき点を伺う。

第二副市長 歳入面では国の交付金等を市の独自事業の財源として有効に活用し、歳出面では感染症対策や市民、事業者への支援を継続するとともに、新たな課題として顕在化した自宅療養者を支えるための支援など、きめ細かな対応を図った。

議員 令和3年度予算審査特別委員会が公共用地を原資とした財源確保に当たっては売却ありきではなく買

健康福祉部調整担当部長 既存施設を有効活用するため、より円滑かつ迅速な事業の開始を目指したスケジュールで進めてきた。

議員 学校の校舎の中に居場所を設置する事業は、子どもたちを特定した環境に閉じ込めてしまうものにならないか。子どもの居場所づくりは地域での展開を重視すべきではないのか。

教育長 子どもたちにとっての開設に当たり、羽沢小学校の移転にどの程度の予算規模を想定したのか。

位置付けで展開したい。

議員 令和3年度はコロナウイルスに関係する対応に終始する年度であった。コロナ関連の総費用を伺う。

第二副市長 新型コロナウイルス感染症対策経費の総額は67億9千400万円だ。

議員 当該経費の収入と支出の特筆すべき点を伺う。

第二副市長 歳入面では国の交付金等を市の独自事業の財源として有効に活用し、歳出面では感染症対策や市民、事業者への支援を継続するとともに、新たな課題として顕在化した自宅療養者を支えるための支援など、きめ細かな対応を図った。

議員 令和3年度予算審査特別委員会が公共用地を原資とした財源確保に当たっては売却ありきではなく買

健康福祉部調整担当部長 既存施設を有効活用するため、より円滑かつ迅速な事業の開始を目指したスケジュールで進めてきた。

議員 学校の校舎の中に居場所を設置する事業は、子どもたちを特定した環境に閉じ込めてしまうものにならないか。子どもの居場所づくりは地域での展開を重視すべきではないのか。

教育長 子どもたちにとっての開設に当たり、羽沢小学校の移転にどの程度の予算規模を想定したのか。

る。また、地権者間の調整など私の力不足もあった。

議員 市長の都市経営の基本は、市財源を使わずゼロ円で建設することと理解している。駅前についても同様の考えか。所見を伺う。

市長 土地、市の立場のマジックだ。子どもの森構想には補助金等を活用し、市の信用で理解を得て行う。お金を使わないわけではなく、

議員 各学校におけるコミ

議員 コロナ感染拡大に伴い開設した自宅療養者相談支援センターの運用における成果を伺う。

健康福祉部長 市が支援体制を整備することにより、市民の不安解消につながり、身近な窓口として安心を提供できたと考えている。

議員 ウクライナからの避難民への生活支援等の対応について、継続的支援の必要性の検討状況を伺う。

市長 今後も状況を見ながら更にきめの細かい支援をしていきたい。避難が長期化しても、三鷹市民として活躍し、三鷹のファンになって欲しいと考える。

議員 情報環境整備について、市役所業務の手続きは更に電子化が求められる。今後の取り組みを伺う。

ユニティ・スクール委員会と、スクール・コミュニティとの連携協力をどのように考え進めてきたか伺う。

教育長 コミュニティ創生を推進する役割と、一人一人の子どものため及び社会のウェルビーイングの実現を図るための有力なツールなので、その実現に向け努力をしていきたい。

議員 地域経済支援/防災・減災対策についてなど

議員 コロナ感染拡大に伴い開設した自宅療養者相談支援センターの運用における成果を伺う。

健康福祉部長 市が支援体制を整備することにより、市民の不安解消につながり、身近な窓口として安心を提供できたと考えている。

議員 ウクライナからの避難民への生活支援等の対応について、継続的支援の必要性の検討状況を伺う。

市長 今後も状況を見ながら更にきめの細かい支援をしていきたい。避難が長期化しても、三鷹市民として活躍し、三鷹のファンになって欲しいと考える。

議員 情報環境整備について、市役所業務の手続きは更に電子化が求められる。今後の取り組みを伺う。

企画部長 各種手続きの電子化により、一層の利便性向上を図るとともに、従来の押印、対面を前提とした業務フローを単にデジタル

未来を見据え市民の心をつなぐ市政運営を進めよ



公明党
粕谷 稔 副幹事長

議員 コロナ感染拡大に伴い開設した自宅療養者相談支援センターの運用における成果を伺う。

健康福祉部長 市が支援体制を整備することにより、市民の不安解消につながり、身近な窓口として安心を提供できたと考えている。

議員 ウクライナからの避難民への生活支援等の対応について、継続的支援の必要性の検討状況を伺う。

市長 今後も状況を見ながら更にきめの細かい支援をしていきたい。避難が長期化しても、三鷹市民として活躍し、三鷹のファンになって欲しいと考える。

議員 情報環境整備について、市役所業務の手続きは更に電子化が求められる。今後の取り組みを伺う。

企画部長 各種手続きの電子化により、一層の利便性向上を図るとともに、従来の押印、対面を前提とした業務フローを単にデジタル



放課後活動で大学生に教わりながら農業体験をする中学生



市のイベントでMachikoeが行ったアンケート調査の様子